2　内　容

〔知識及び技能〕

(1) 英語の特徴やきまりに関する事項

実際に英語を用いた言語活動を通して，小学校学習指導要領（平成二十九年文部科学省告示第六十三号）第２章第10節の第２の２の(1)，中学校学習指導要領（平成二十九年文部科学省告示第六十四号）第２章第９節の第２の２の(1)及び次に示す言語材料のうち，五つの領域別の目標を達成するのにふさわしいものについて理解するとともに，言語材料と言語活動とを効果的に関連付け，実際のコミュニケーションにおいて活用できる技能を身に付けることができるよう指導する。

ア　音声

(ｱ) 語や句，文における強勢

(ｲ) 文におけるイントネーション

(ｳ) 文における区切り

イ　句読法

(ｱ) コンマ

(ｲ) コロン，セミコロン

(ｳ) ダッシュ

ウ　語，連語及び慣用表現

(ｱ) 小学校及び中学校で学習した語に400～600語程度の新語を加えた語

(ｲ) 連語

(ｳ) 慣用表現

エ　文構造及び文法事項

小学校学習指導要領第２章第10節の第２の２の(1)のエ，中学校学習指導要領第２章第９節の第２の２の(1)のエ及び次に示す事項については，意味のある文脈でのコミュニケーションの中で繰り返し触れることを通して活用すること。その際，(ｲ)に掲げる全ての事項を，適切に取り扱うこと。

(ｱ) 文構造のうち，活用頻度の高いもの

(ｲ) 文法事項

a　不定詞の用法

b　関係代名詞の用法

c　関係副詞の用法

d　接続詞の用法

e　助動詞の用法

f　前置詞の用法

g　動詞の時制及び相など

h　仮定法

〔思考力，判断力，表現力等〕

(2) 情報を整理しながら考えなどを形成し，英語で表現したり，伝え合ったりすることに関する事項

具体的な課題等を設定し，コミュニケーションを行う目的や場面，状況などに応じて，情報を整理しながら考えなどを形成し，これらを論理的に適切な英語で表現することを通して，次の事項を身に付けることができるよう指導する。

ア　日常的な話題や社会的な話題について，英語を聞いたり読んだりして，情報や考えなどの概要や要点，詳細，話し手や書き手の意図などを的確に捉えたり，自分自身の考えをまとめたりすること。

イ　日常的な話題や社会的な話題について，英語を聞いたり読んだりして得られた情報や考えなどを活用しながら，話したり書いたりして情報や自分自身の考えなどを適切に表現すること。

ウ　日常的な話題や社会的な話題について，伝える内容を整理し，英語で話したり書いたりして，要点や意図などを明確にしながら，情報や自分自身の考えなどを伝え合うこと。

(3) 言語活動及び言語の働きに関する事項

①　言語活動に関する事項

(2)に示す事項については，(1)に示す事項を活用して，例えば，次のような五つの領域別の言語活動及び複数の領域を結び付けた統合的な言語活動を通して指導する。

ア　中学校学習指導要領第２章第９節の第２の２の(3)の①に示す言語活動のうち，中学校における学習内容の定着を図るために必要なもの。

イ　聞くこと

(ｱ) 日常的な話題について，話される速さが調整されたり，基本的な語句や文での言い換えを十分に聞いたりしながら，対話や放送などから必要な情報を聞き取り，話し手の意図を把握する活動。また，聞き取った内容を話したり書いたりして伝え合う活動。

(ｲ) 社会的な話題について，話される速さが調整されたり，基本的な語句や文での言い換えを十分に聞いたりしながら，対話や説明などから必要な情報を聞き取り，概要や要点を把握する活動。また，聞き取った内容を話したり書いたりして伝え合う活動。